

生涯活躍のまち・あさひ形成事業  
多世代交流ラウンジ「おひさまテラス」  
事業計画

2019年11月

# 目次

<b>1 事業計画検討の背景と「(仮称) おひさまテラス」のねらい.....</b>	<b>3</b>
1. 1 生涯活躍のまち・あさひ形成事業の概要.....	3
1. 2 当事業計画(案)策定の背景.....	4
1. 3 多世代交流ラウンジ「おひさまテラス」設置の目的.....	6
<b>2 「(仮称) おひさまテラス」の基本的考え方.....</b>	<b>7</b>
2. 1 基本理念.....	7
2. 2 基本方針.....	8
<b>3 「(仮称) おひさまテラス」施設・機能イメージ.....</b>	<b>9</b>
3. 1 導入機能イメージ.....	9
3. 2 「おひさまテラス」施設概要.....	9
3. 3 「おひさまテラス」運営スキーム.....	10
3. 4 各施設概要.....	11
3. 4. 1 カフェレストラン.....	11
3. 4. 2 キッチンスタジオ.....	11
3. 4. 3 パーティールーム.....	12
3. 4. 4 ベビーキャンプ.....	12
3. 4. 5 工作室.....	13
3. 4. 6 Art & Craft Public.....	13
3. 4. 7 ダンススタジオ.....	14
3. 4. 8 音楽スタジオ.....	14

3. 4. 9 Business Public .....	15
3. 4. 10 パレットルーム .....	15
3. 4. 11 Growing Public .....	16
3. 4. 12 Learning Public.....	16
3. 4. 13 Mirai Public.....	17
3. 4. 14 おひさまライブラリー .....	17
3. 4. 15 Playing Public .....	18
3. 4. 16 Farm Public .....	18

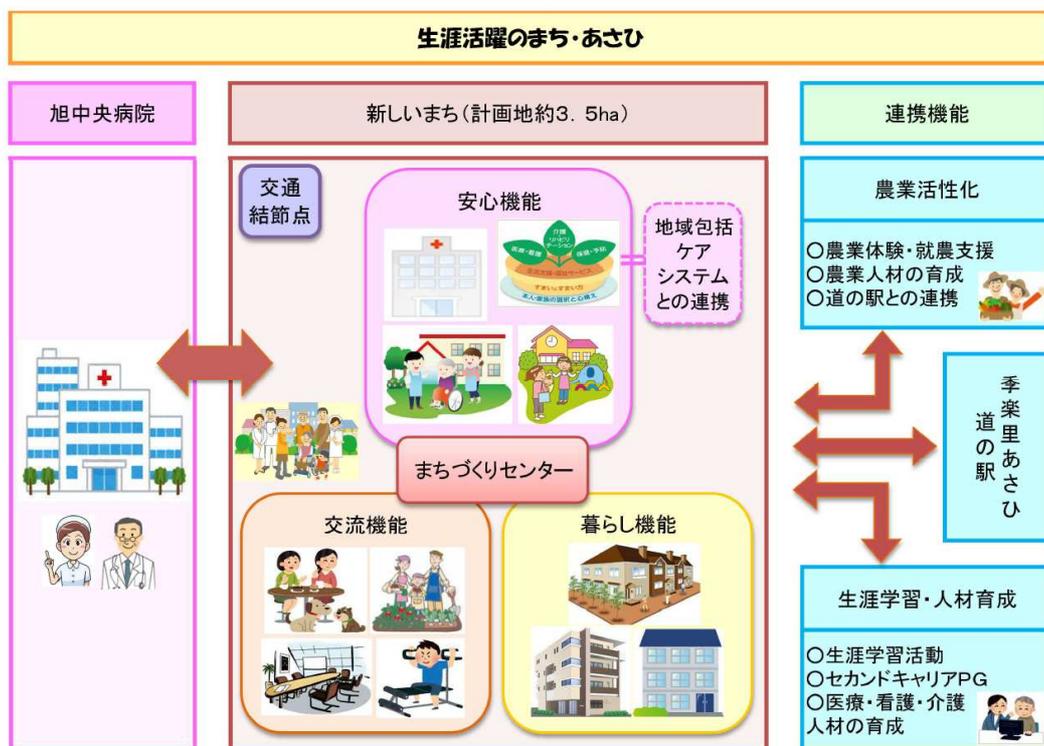
**付 参考資料..... 19**

付1 中心市街地との連携・連動イメージ .....	20
付2 空間イメージ資料 .....	21
付2. 1 レイアウトイメージ .....	21
付2. 2 空間イメージ.....	22
付2. 3 カットパース.....	23
付2. 4 Playing Public イメージ .....	24

# 1 事業計画検討の背景と「(仮称) おひさまテラス」のねらい

## 1. 1 生涯活躍のまち・あさひ形成事業の概要

「旭市にしかない・旭市ならではの“魅力とライフスタイル”の創出・提供」をコンセプトに、多世代・多機能が混在し、共に支え、触発しあう「安心・生きがい・おもしろ創造空間」を実現することを目指し、市の宝である旭中央病院から連携拠点である道の駅季楽里あさひを一体的にとらえて構想エリアとし、市全体の活性化につなげるための拠点としての「新しいまちづくり」を行うものである。



図：生涯活躍のまち・あさひの全体像（イメージ）



図：計画地周辺図

## 1. 2 当事業計画（案）策定の背景

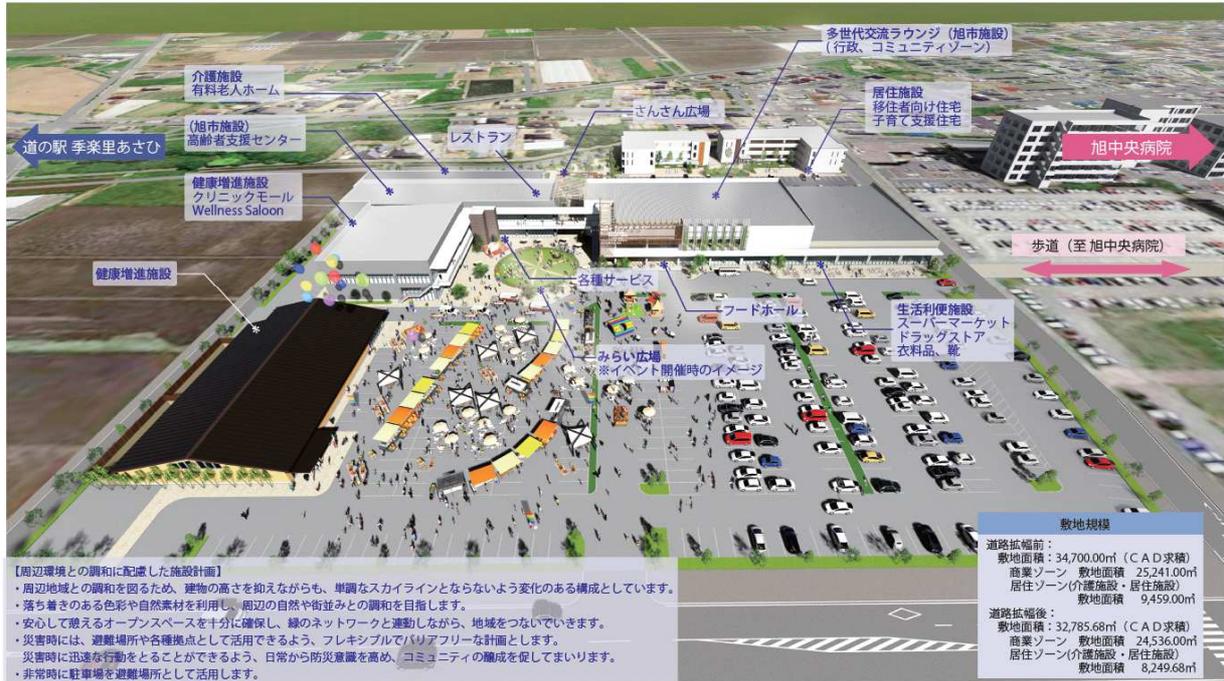
2018年に実施された「生涯活躍のまち・あさひ形成事業 事業者募集」において、イオンタウン・大和ハウス工業・阿部建設共同事業体が最優秀提案者に選定された。事業提案の中に、旭市施設（イオンタウン運営受託）としての「多世代交流ラウンジ」が提案されており、その実現に向けて、2019年5月より各関係主体によるワーキンググループが発足され、検討が進められている。当事業計画（案）はその検討内容について一定の方向性を示すものとしてまとめた。引き続き、これを元に議論を進められたい。

### 「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」事業提案の概要（提案時）

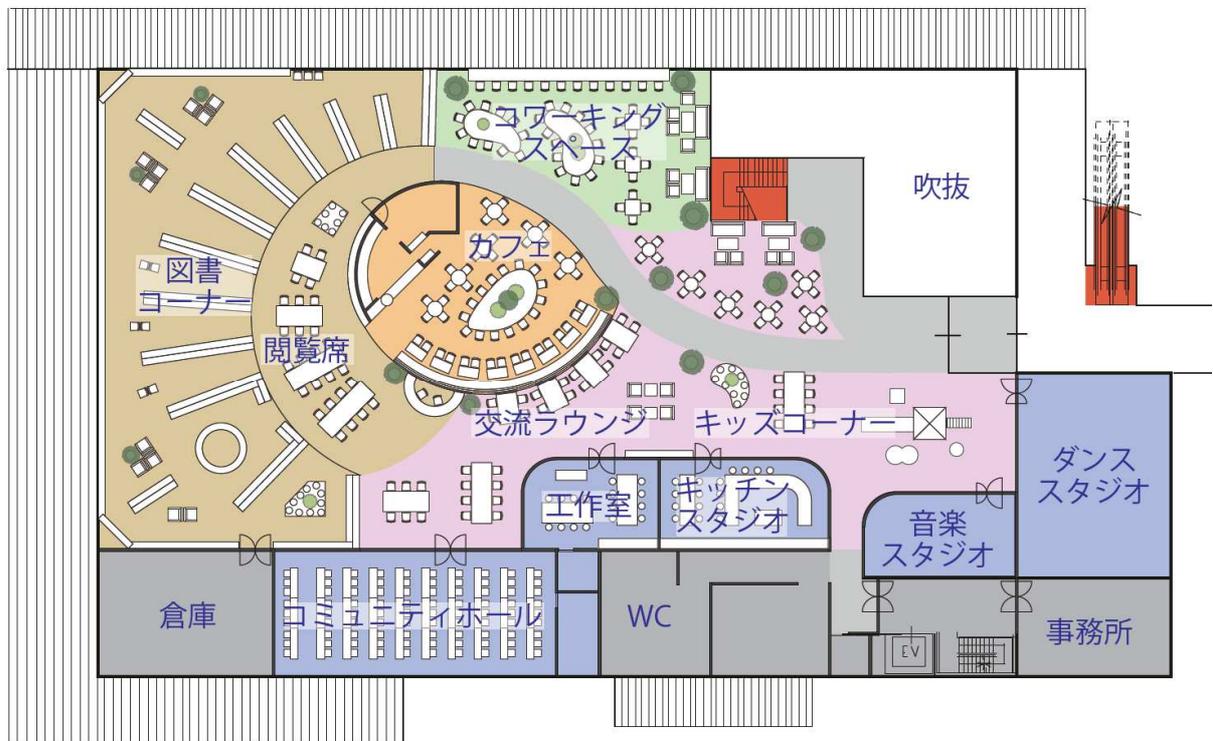
所在地	千葉県旭市イ字振田 4322 番地 外 20 筆
敷地面積	32,785.68 m <sup>2</sup> （道路拡幅後／想定）
延床面積	商業ゾーン：12,222.00 m <sup>2</sup> 居住ゾーン：5,532.00 m <sup>2</sup>
整備・運営主体	商業ゾーン：イオンタウン株式会社 居住ゾーン：大和ハウス工業株式会社

地域と共に「楽しく健康になる」ための持続可能な多世代交流拠点

## みらいあさひ



図：生涯活躍のまち・あさひ形成事業 施設全体イメージ (提案時)



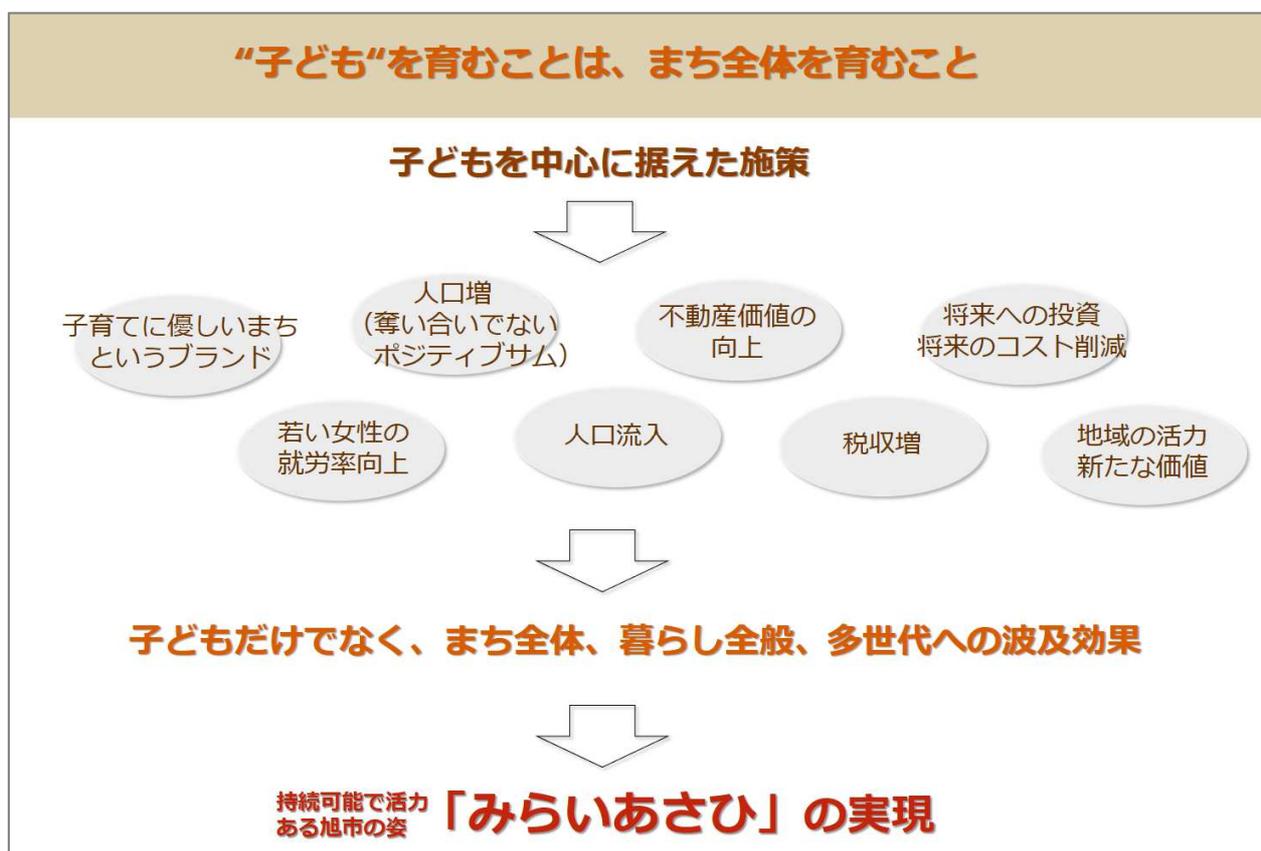
図：「交流ラウンジ」事業提案時のイメージ

### 1. 3 多世代交流ラウンジ「おひさまテラス」設置の目的

持続可能なまちづくりのためには、将来に渡る活力の維持向上が不可欠である。その意味では、次代を担う宝である「子ども」の育成は最も重要であると言える。

旭市にしかない・旭市ならではの“魅力とライフスタイル”を創造するためには、子どもと子育て家庭の暮らしやすさにコミットすることで、未来へ向けた新たな価値を醸成し、その波及効果により、シニアの生きがいや活躍にもつなげ、市全体の多世代にわたる活力を向上することが有効である。

当施設は、上記の「子ども」を中心に据えたまちづくりの核として、子どもを中心にしながら、多世代・多機能が混在し、共に支え、触発し合う「安心・生きがい・おもしろ創造空間」として機能することで、地域全体の価値を向上し、ひいては持続可能で活力ある旭市の姿「みらいあさひ」を実現することを狙いとしている。



図：「みらいあさひ」実現のストーリー

## 2 「(仮称) おひさまテラス」の基本的考え方

### 2. 1 基本理念

子育てを通して、まちの人々がつながり、支え合い、共に育む場。  
笑顔あふれる多世代交流コミュニティ「おひさま テラス」を創造します。

多様な連携を土台とし、子どもを中心に据えた取組みを進めながら、その周囲の子育て世代、高齢者など多様な主体の活躍のフィールドを創出していくことで、共にまちを育むことを目指す。



図：「おひさまテラス」コンセプトイメージ

## 2. 2 基本方針

子育てを通じて多様な世代の活躍やつながりが生まれるループを創造します。

主として下記3ターゲットを中心に、市・地域・教育機関などとの連携の元、多世代交流や支え合いを生み出し、それらが繋がりがあっていくループを創り出す。

### ターゲット①：地域の子どもたち

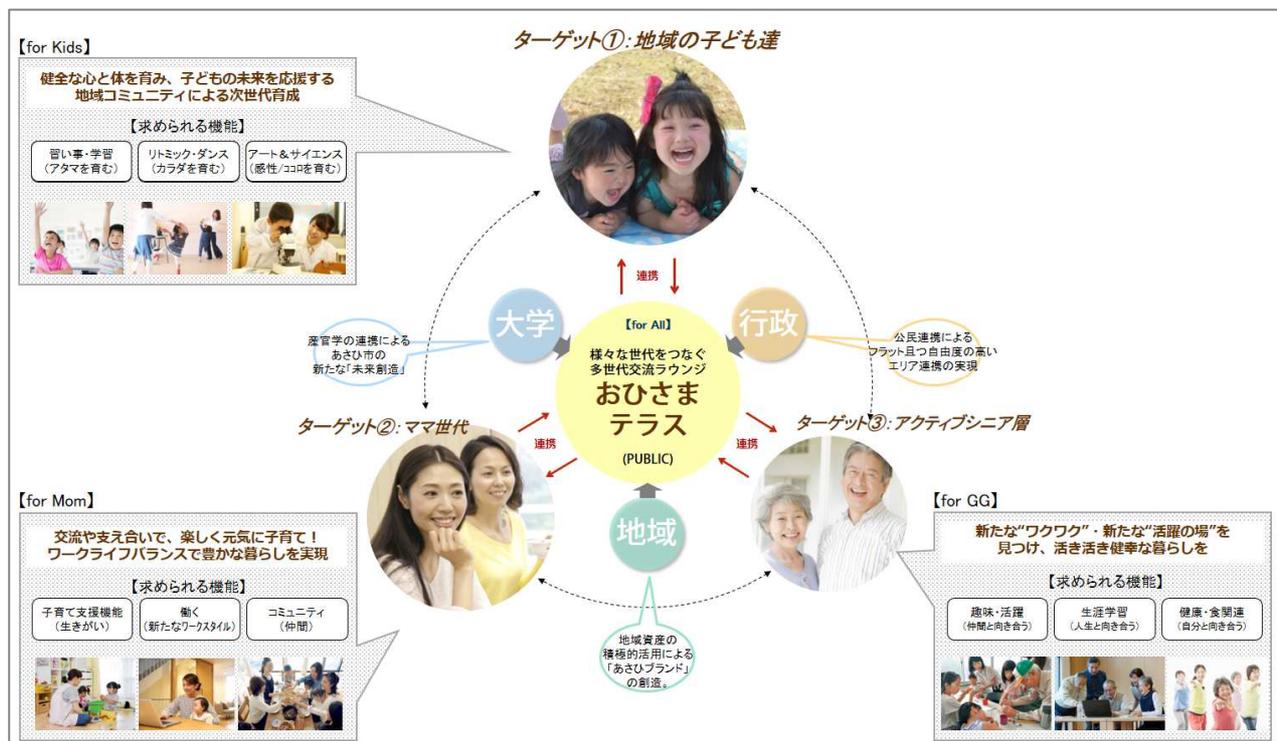
- ・健全な心と体を育み、子どもの未来を応援する、地域コミュニティによる次世代育成

### ターゲット②：子育て世代（ママ世代）

- ・交流や支え合いを通して、楽しく元気に子育て！ワークライフバランスで豊かな暮らしを

### ターゲット③：アクティブシニア層

- ・新たな“ワクワク”・新たな“活躍の場”を見つけ、生き生き健幸な暮らしを

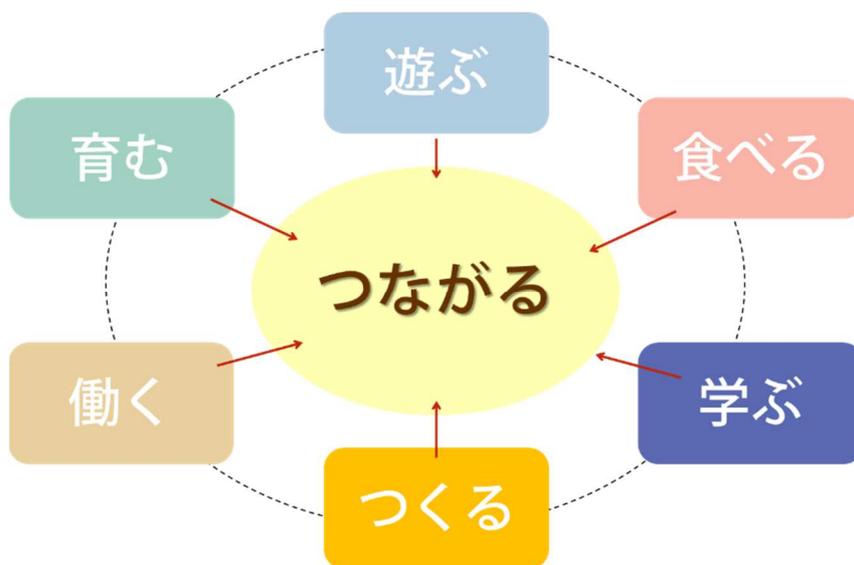


図：「おひさまテラス」多世代交流イメージ

### 3 「(仮称) おひさまテラス」施設・機能イメージ

#### 3. 1 導入機能イメージ

下記の6つの柱を通じて、「多世代交流」・「まちの育成」を実現する



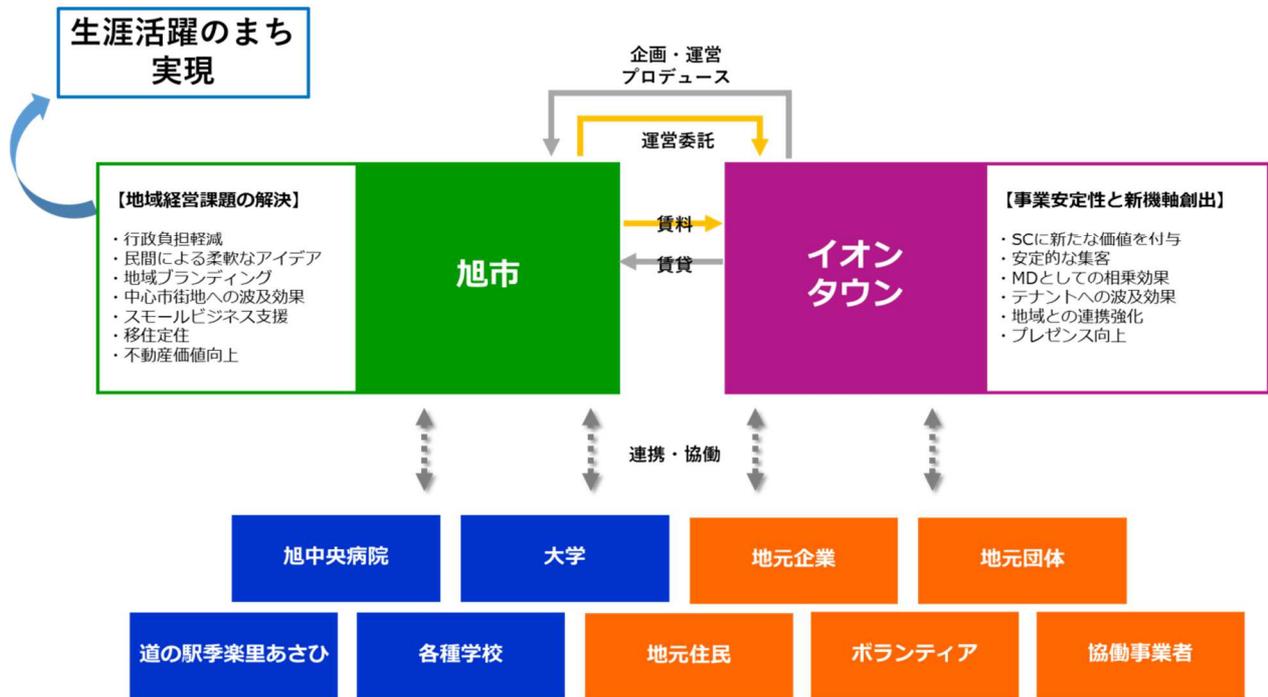
図：導入機能イメージ

#### 3. 2 「おひさまテラス」施設概要

施設全体の概要を以下に示す。

「おひさまテラス」の概要	
所在地	千葉県旭市イ字振田 4322 番地 外 20 筆 (仮称) イオンタウンあさひ 2 階
床面積	約 2,200 m <sup>2</sup> (屋内：約 2,000 m <sup>2</sup> / 屋外：約 200 m <sup>2</sup> )
運営主体	イオンタウン株式会社
休館日	毎週月曜日 (祝日の場合翌日) (一部施設は異なる)
開館時間	9:00~21:00 (一部施設は異なる)
料金	入場無料 (一部有料)

### 3. 3 「おひさまテラス」運営スキーム



※スキームの詳細は基本協定締結後の協議・検討による

図：運営スキーム

### 3. 4 各施設概要

#### 3. 4. 1 カフェレストラン

地元人気店のプロデュースの元、地元の素材を活かし、地元を盛り上げる、クオリティの高いカフェレストラン。子育て世代が質の高い雇用機会を与え、育成することで、地域に新しいコンテンツを生み出す。



図：空間イメージ



図：商品イメージ



#### 3. 4. 2 キッチンスタジオ

料理教室や食を通じた集まりの開催の他、フードビジネスの開発拠点としても活用。

メニュー開発、軽食やドリンク付きのイベント開催などキッチンスタートアップの挑戦と実践の場として利用。先行投資や維持管理費をかけずに小さく創業を考える個人や事業者をサポートする。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 3 パーティールーム

食関連のセミナーやイベント、地域の集まりや各種パーティーに利用できるスペース。キッチンスタジオと連動した利用も可能。食で繋がるコミュニティ形成を促す。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 4 ベビーキャンプ

当施設利用者を対象に、未就学児童の一時預かりを行う。一時預かりにより、施設内各所でのイベントやセミナーへの参加、スペース利用、テレワーク等を可能とし、子育て世代の自己実現や就労・起業などをサポートする。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 5 工作室

工作を通じたコミュニティ形成を推進する。工作室や機材の利用の他、各種アドバイス・サポート、ワークショップの開催なども行う。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 6 Art & Craft Public

工作室の拡張スペースとして、ワークショップやギャラリー、ショップとして利用。アートや工作を通じた繋がりを創出する。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 7 ダンススタジオ

子どもから高齢者まで幅広く利用できるダンススタジオとして設置。スタジオ貸出の他、ダンススクール等も開催。趣味を通じた自己実現や、青少年の交流、サークル活動の支援などを行う。



図：活用イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 8 音楽スタジオ

子どもから高齢者まで幅広く利用できる音楽スタジオとして設置。スタジオ貸し出しの他、音楽教室等も開催。趣味を通じた自己実現や、青少年の交流、サークル活動の支援などを行う。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 9 Business Public

コワーキングスペース・シェアオフィス・会議室などを設けたスモールビジネス支援拠点。子育て世代を対象としたスタートアップ支援イベントを継続的に開催し、地域の産業を底上げする。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 10 パレットルーム

施設内で受け入れる多くの活動の発表の場として機能。各種会議やプレゼンテーションの他、多くの用途に使用可能。



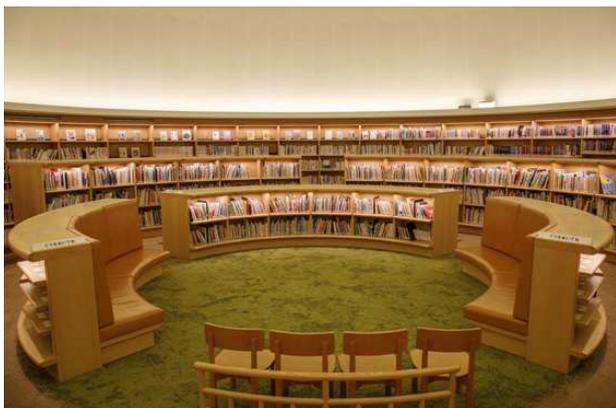
図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 1 1 Growing Public

「育む」をテーマにしたパブリックスペース。通常時は多目的に利用可能。子育てサークルや子育てセミナー等の場として、子育てをサポート。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 1 2 Learning Public

「学び」をテーマとしたパブリックスペースとして、通常時は読書・自習等のスペースとして利用可能。大学や高等学校、地元企業や旭中央病院と連携したイベントや教育プログラムも開催し、ここならではの「学び」を創り出していく。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 13 Mirai Public

中央の開かれたオープンスペースとして設置。通常時はフリースペース、イベント時はみんなの本棚と合わせて広く利用。プレゼンテーション等にも対応。



図：空間イメージ



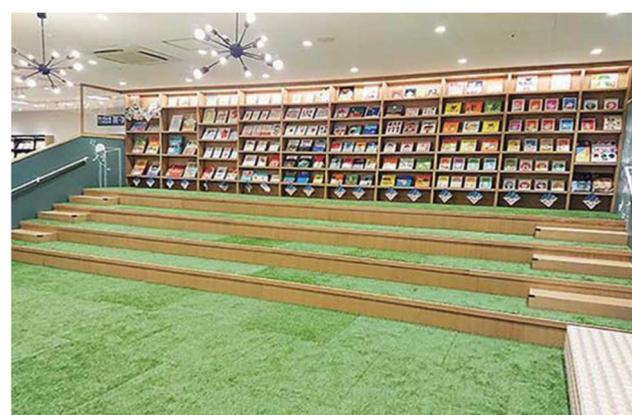
図：活用イメージ

### 3. 4. 14 おひさまライブラリー

ライブラリー機能として、施設内各所の本棚にて蔵書を開架。施設やゾーンのテーマに合った図書を絞り込んで設置。本をきっかけとしたコミュニティを生み出す交流イベントも開催。まちが面白くなる、独自の本棚ができていく。利便性と QOL 向上につながる運営とする。



図：空間イメージ



図：空間イメージ

### 3. 4. 15 Playing Public

心と体を育む、子どものあそび場。遊具や玩具の設置の他、楽しく遊べるイベント、木育などの教育的プログラムも開催する。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

### 3. 4. 16 Farm Public

南側テラスの一部にて「農業」をテーマとした農園兼レストスペースを設置。農業や食を通じたコミュニティ、教育やビジネスを醸成する拠点として活用する。



図：空間イメージ



図：活用イメージ

---

## 付 参考資料

---

付1 中心市街地との連携・連動イメージ

付2 空間イメージ資料

付2. 1 レイアウトイメージ

付2. 2 空間イメージ

付2. 3 カットパース

付2. 4 Playing Public イメージ

## 付1 中心市街地との連携・連動イメージ

旭駅周辺の商店街を「リノベーションまちづくり（※）重点エリア」と位置づけ、当事業との連携による活性化の推進を検討する。重点エリアを、当事業による産業振興、起業・スタートアップ、小商売などのサポートで立ち上がったスモールビジネスのフィールドとして活用し、まちの魅力・エリア価値の向上を、周辺へも波及させていくことを目的とする。（詳細は基本協定締結後の協議・検討による）



図：エリアイメージ

※「リノベーションまちづくり」とは

空き家、空店舗、空きビル及び空き地等の既存の建物や土地（以下、遊休不動産という）をリノベーション手法による活用を行い、遊休不動産の再生と質の高い雇用の創出等を掛け合わせ、新たな産業振興と地域コミュニティの再生を図ることを目的としているまちづくり事業。

（先進地例：北九州市・和歌山市・草加市・熱海市・岡崎市・仙台市など）

